

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) **公開特許公報** (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-92177

(P2002-92177A)

(43)公開日 平成14年3月29日(2002.3.29)

(51)Int.Cl ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	126	G 0 6 F 17/60	126 W 5 B 0 4 9
A 6 1 B 5/00	102	A 6 1 B 5/00	102 C
A 6 3 B 22/02		A 6 3 B 22/02	
69/00		69/00	A
			C
審査請求 有 請求項の数 10 L (全 5 数)			

(21)出願番号 特願2000-276703(P2000-276703)

(22)出願日 平成12年9月12日(2000.9.12)

(71)出願人 300047459

奥田 和弘

三重県伊勢市馬瀬町字小松原28-2 馬瀬ハイツ2-D号室

(72)発明者 奥田 和弘

三重県伊勢市馬瀬町字小松原28番地の2 馬瀬ハイツ2-D

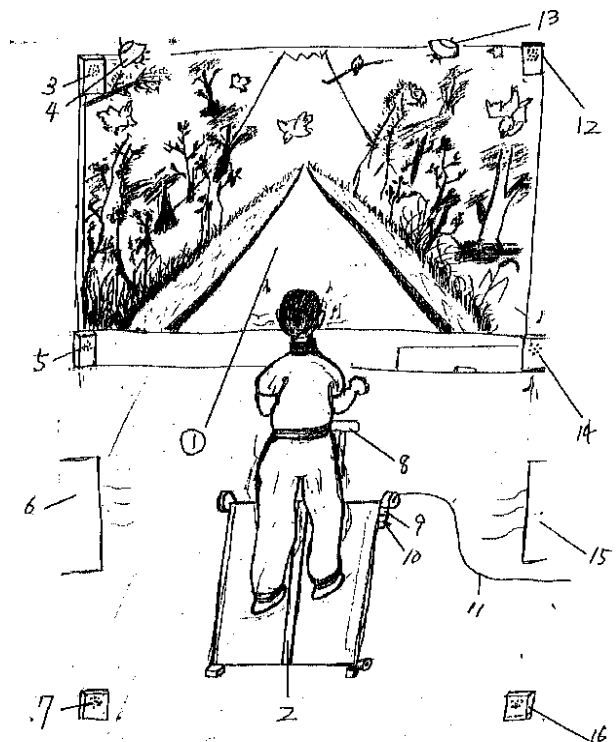
Fターム(参考) 5B049 FF01 GG02

(54)【発明の名称】 人生生涯充実、健康長寿システム

(57)【要約】

【課題】 高齢化時代になり、寿命は伸びた一方65歳以上の要介護率は49%にも達すると言われ長寿即ち幸福とは言えない。高齢者の人間の体を組成する細胞が減弱して、いわゆる半病人の老人が半分居る事であり国民医療費など経済的なマイナスは勿論、介護看護等非生産的労働力に公私にわたって削がれ、要介護病人はもとより回りの関係者、納税者、勤労者共々心身とも不幸で暗い人生に巻き込まれる。

【解決手段】 中年以降運動をして足腰の筋肉を鍛え、心肺機能を活性化すれば、人間すべからく、100歳迄元気でいきいきと充実した幸福な人生が送れ、次世代に負担を掛ける事も無い。本発明により、元気に運動すると同時に、充実した食生活、精神状態、睡眠時間、生活サイクル等、医学的、科学的な専門システムのサポート、ケアを受けることにより、総ての人が生涯最良の人生を満喫出来、社会全体を幸せに出来る。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】光通信ケーブルと I T 技術を組み合わせ、苦痛の伴う運動を積極的に自ら求めて且つ楽しみながら実施出来るウォーキング名所、ジョギング名所の映像配信システム、及びウォーカーに蓄積された、運動実績を基に栄養摂取、睡眠、精神安定、体細胞の活性化等健康生活に関する双方向通信による対話型サポートシステム、及びメディカルセンターとユーザーの身体各種データとのやり取りによる、診査、検査、測定、分類、判定、指導の病気治療、病気予防のシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【0002】

【発明の属する技術分野】本発明は、間もなく国内全般に敷設される、高速、大容量、双方向の光通信網を使って、人間の健康の根源は運動する事により、第二の心臓と言われる足の筋肉を鍛える事に尽きると言う定説を実行し、国民総てが 100 歳迄、人生を楽しみながら、且つ科学的、論理的に健康を保つ方法で、個人及び家族、そして国、各自治体、健康保険組合、保険業者等に渴望され、最大多数に最大幸福をもたらす健康長寿創造システムである。

【0003】

【0004】

【従来の技術】従来の運動の方法は、ジョギング、ウォーキングが足腰を鍛え健康維持のために最適で有ることを認識している国民は大多数であり、現に実行人口は 1 千万人とも言われているが、従来の方法は家の近くの運動に適した屋外の場所を、運動の科学的根拠も、結果検証、計画性も無く自分の好きなペースで行って来たので折角の運動の成果を健康長寿に結びつけられず数少ない達成者も偶然の要素が多かった。

【0005】

【0006】又、悪天候、交通事故、自動車の排ガス、急な便意、空き巣、窃盗、路面の凸凹或いは障害物或いは凍結による転倒骨折等の心配も有った。

【0007】

【0008】従来の景色を楽しみながら運動する方法は、家の近くの比較的、条件、環境の整った場所で行っており、理想的なジョギングコース、ハイキングコースは一度は走って見たい、歩いて見たいと思いながらも日常の運動では諦めており、まして、まだ見たこともない聞いたこともない考えた事もないコースでの運動は不可能であった。

【0009】

【0010】従来の患者と医療機関との関わりは、真剣に健康な人生を模索する人々の医者との関わりは定期検診、人間ドッグ、健康相談、その他の直接対面型で、今現在一般的に行われている電話線とコンピューターを使った遠隔医療は、無医村等地域と医者との関係が、ほそ

ぼそとある程度で、文字通り従来型の非体系的、非システムの予防医学の実践の域を一步も出ていない。

【0011】

【0012】従来の電話線による信号送達技術は、従来の遠隔診療や健康診断に使われている現在の電話線型は、1 方向型で送達速度、容量共能力が低く本システムの様に映像、音響装置、照明装置、空調装置に同時に多くの人が利用し、又多数の人が多量に同時に利用されるであろう病気治療、診断、予防、健康管理の信号を相互にやり取りすることは不可能であった。

【0013】

【0014】

【発明が解決しようとする課題】日本人の高齢化が進む反面、65 歳以上の人の要介護率は 49%と言われている。

【0015】

【0016】健康で無い老人の平均寿命の高齢化は国民医療費や健康保険、介護保険費の国民負担が莫大で深刻な財政問題になっており将来的にも展望が開けていない。

【0017】

【0018】糖尿病を始めとする成人病患者は年々増大し予備軍まで入ると国民 4 人に 1 人はその心配が有ると言われている。

【0019】

【0020】病院、医院の待合室はどこも超満員で 5 分間の診察に 2~3 時間待ち 1 回の病院通いは 1 日掛かりと言う不正常な状態にあり、気軽に自分の健康のケアが出来ない。

【0021】

【0022】一方、ジョギングやウォーキングが健康寿命増大に良い事は良く知られているが、実行には苦痛が伴い、又上記「従来の運動の方法」で種々述べた通り制約が重なりなかなか実行が難しく大部分の人は運動とは無縁になっている。

【0023】

【0024】一部の人は健康のため運動に励んで居るが専門的なサポートもシステムも無くそれぞれの我流で、科学的、論理的なものでない。

【0025】

【0026】従来の遠隔医療には効果的、体系的な予防システム、治療システムが存在せず、コンピューターを活用した簡易な健康増進保持方法が開発されて無かった。

【0027】

【0028】

【課題を解決するための手段】年齢だけ長生きするのではなく、健康寿命の高齢化が理想でありそのためには、ジョギングやウォーキングによる、足腰の鍛練、取り分け体全体の 3 分の 2 を占める足の筋肉、赤筋を強くする事

により、心肺機能を高めることが健康寿命を延ばす必須条件であるが、運動の実施は身体的、精神的苦痛も伴うので、健康に良いことが解っていてもなかなか実行できない。

【0029】

【0030】しかしながら、光ケーブルの特性を活かし、世界中の有名な、珍しいジョギングコースやウォーキングコースのなかの抜群の環境を映像と音響と空調と照明を使って作出し感動したり、ドキドキと楽しみながら運動することにより解決する。更に光ケーブルの双

10 方向通信性を活用し、科学的に綿密に組み立てられた、成人病の予防システム、治療システムを組み入れ、国民総てが100歳まで生き生きとした健康国家を創り、医療費や介護費用を使わない世の中を目指す。特に運動による効果として、脳内ホルモン、体細胞の賦活、活性化は意識されるべきで有る。

【0031】

【0032】

【発明の実施の形態】光通信ケーブルと大画面受像機（テレビ）と名所コース映像とウォーキングマシンと健

20 康管理システムとの一体化をシステムにする。

【0033】

【0034】名所コースシステムとは、ナイアガラの瀑布を見ながら轟々とした音の中を、或いはアラスカの神秘的なオーロラの中を薄暗くした照明装置と冷房最強にした空調と不気味な程の静寂な中「ビ・ビッ」という微妙な放電音を音響装置で、アラスカで撮影された、契約した事業者から映像を送って来る光ケーブルで各機器に指令された環境の中を、恰も現場をジョギングやウォー

30 キングをしているごとく楽しみながら、或いは興奮しながら運動するシステムの発明である。

【0035】

【0036】（図1）は山梨県にある富士山の裾野に有る散歩コースとしての設定で有る。右手足元に富士川の源流が流れせせらぎ、図上に樹木が繁り小鳥が鳴いている、映像が木陰に入れば室内の照明は落ち、日向に出れば明るくなる。上り坂になればウォーカーの角度は上向き、下り坂になれば下向き角度に変わり、完全な「臨場感」を室内で体感できる形態である。（図2）

ウォーキングマシンは様々な機種が市販されて居るが、40 本システムでは、両足の太ももやふくらはぎの筋肉に均等な負荷のかかる、マイコン内蔵、左右2枚ベルト式ウォーカーを採用、更に映像連動角度調整機能を付け加える。

【0037】

【0038】又、将来太陽光発電、風力発電等、各家庭や施設に自家発電装置が普及すれば、ウォーカーにも小型発電機を付けて蓄電装置に繋げ地球環境浄化の一端とする。

【0039】

*【0040】システムのコンピューターとつなぎ運動時間、距離、時速、累積歩行距離、カロリー消費、体脂肪消費、累積体脂肪消費量を表示、記録、分析して、利用者の健康管理に資する。

【0041】

【0042】健康管理システムは光ケーブルを使い「100歳まで健康を目指すメディカルセンター」と各家庭のウォーカーの資料に加え日常の食状態、睡眠、精神状態等をチェック、定期的に、血圧、尿、脂質、肝機能、腎機能、糖尿病、通風、末梢血液検査等を行う。（図

3）それぞれのケースにより、種々のランクを作り、例えばマンツーマンの徹底した対話型健康管理も出来る。

【0043】

【0044】各自治体や健康保険組合の健康保険施設の体育館の様な場所で大スクリーンとウォーカーを多数並べたジョギングセンター、（ウォーキングセンター）に対話型健康保持システム、病気治療システム等の端末を備えた、沢山の人が集まる「健康創造センター」等にサービスを提供する。

【0045】

【0046】

【実施例】光ケーブル通信は全国に敷設工事中であるが、上記に記載された能力を有し、間もなく実用に供される事は、既成の事実であるが、実際の事業は、まだ実施されて居ない。

【0047】

【0048】

【発明の効果】本発明は、以上に説明したように構成されているので、以下に記載されるような効果を奏する。

【0049】

【0050】健康長寿を目指す総ての人が、健康長寿の根源で有る「足の筋肉を鍛えて心肺機能を活性化させる」運動が、容易に、楽しく、続けられるため元気で充実した人生が楽しめる。

【0051】

【0052】社会全般においては、病弱高齢者を縮減し、健康高齢者を増大させ、医療費の個人負担及び各種保険等の財政負担を削減し、国民の総労働生産性を高める。今後登場する光ケーブル通信及び現在急速に充実過程に有るIT技術を連動、活用し日本人が理想的な充実人生を構築し、全世界に発信して地球上の人類を幸福な世界に導くリーダーになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】光通信ケーブルと大画面受像機（テレビ）と名所コース映像とウォーキングマシンとの一体化をシステムにするイメージ正面図

【図2】同上側面図

【図3】運動をして体内の細胞の賦活を促し、同時に病

*50 気「治療システム」「病気予防システム」「健康保持シ

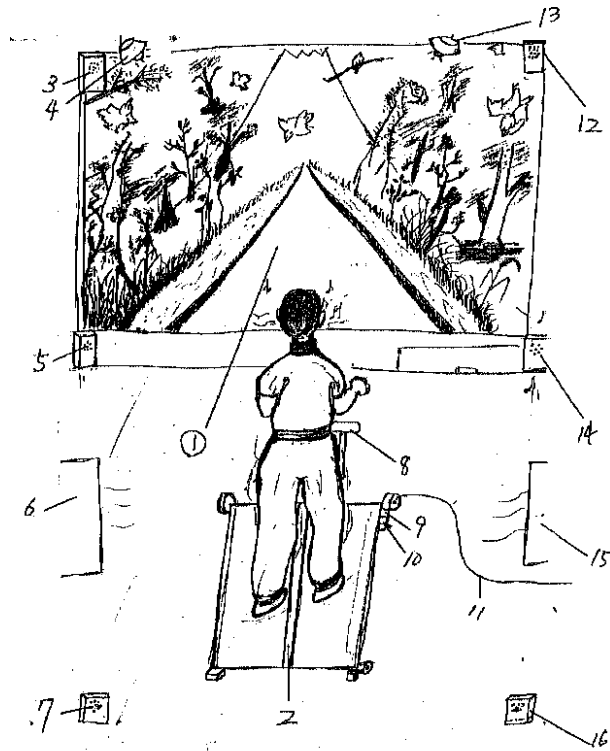
5

ステム]を連動させる全体図

【符号の説明】

- 1 大型受像機
- 2 ウォーカー
- 3 頭上スピーカー1
- 4 照明装置1
- 5 左右スピーカー1
- 6 空調装置1
- 7 前後スピーカー1
- 8 マイコン
- 9 角度調節装置
- 10 小型発電機取り付け口

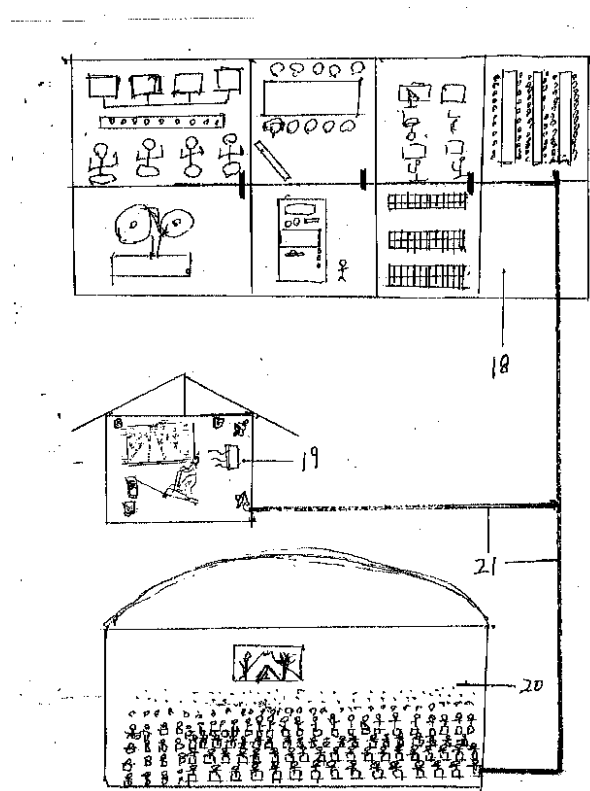
【図1】



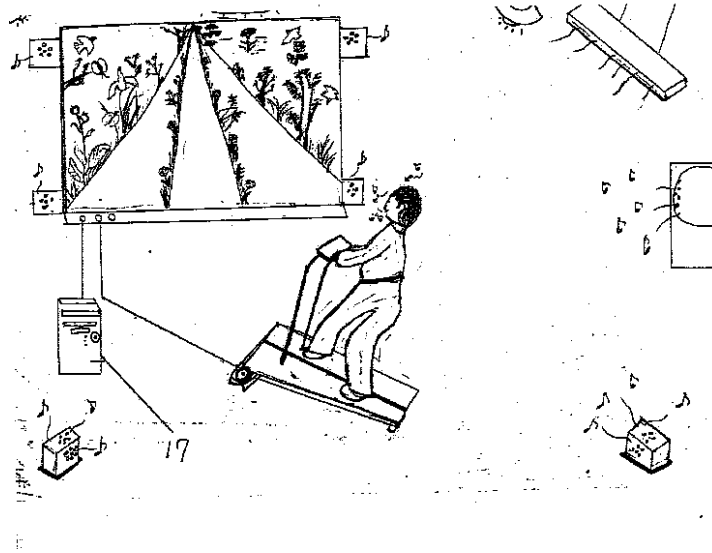
6

- 12 前後スピーカー2
- 13 照明装置2
- 14 左右スピーカー2
- 15 空調装置2
- 16 床スピーカー
- 17 センター直通コンピューター
- 18 100歳まで健康を目指すメディカルセンター
- 19 各家庭での実施図
- 20 健康長寿ウォーキングセンター (ジョギングセンター)
- 21 光通信ケーブル

【図3】



【図2】



专利名称(译)	终身终身生命，健康长寿系统		
公开(公告)号	JP2002092177A	公开(公告)日	2002-03-29
申请号	JP2000276703	申请日	2000-09-12
[标]申请(专利权)人(译)	奥田和弘		
申请(专利权)人(译)	奥田和弘		
[标]发明人	奥田和弘		
发明人	奥田 和弘		
IPC分类号	A63B22/02 A61B5/00 A63B69/00 G06Q50/00 G06Q50/10 G06Q50/22 G06F17/60		
FI分类号	G06F17/60.126.W A61B5/00.102.C A63B22/02 A63B69/00.A A63B69/00.C G06Q50/00 G06Q50/10 G06Q50/22 G06Q50/22.130 G16H20/00		
F-TERM分类号	5B049/FF01 5B049/GG02 4C117/XA05 4C117/XB02 4C117/XB11 4C117/XB15 4C117/XC01 4C117/XC20 4C117/XE54 4C117/XG01 4C117/XG15 4C117/XG20 4C117/XH17 4C117/XJ03 4C117/XL09 4C117/XL21 4C117/XN07 4C117/XP01 4C117/XP02 4C117/XP04 4C117/XP10 4C117/XP12 4C117/XQ11 4C117/XR01 4C117/XR17 4C117/XR18 4C117/XR19 5L049/CC00 5L049/CC11 5L099/AA15		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

[问题]在衰老时代，人们的预期寿命已经延长，但据说65岁及65岁以上的老年人的护理率达到49%。由于构成老年人的身体的细胞被削弱，因此存在着有一半的所谓的患病老年人，不仅公开和私下减少了国民医疗费用等经济负面影响，还减少了护理和护理等非生产性劳动力。结果，不仅是受护理者，而且相关人员，纳税人和工人在身心上都感到不快，并陷入了黑暗生活。[解决方案]通过在中年以后锻炼来锻炼腿部和腰部的肌肉并激活心肺功能，全人类可以活到100岁以上的充实充实和幸福的生活，并负担着下一代。也没有。借助本发明，在大力锻炼的同时，所有人都将从最佳医学和科学系统，例如健康饮食，精神状况，睡眠时间，生命周期等中获得支持和护理，从而获得最佳的终生体验。享受生活，使整个社会幸福。

